

「8%規制」ぶち破り、大巾賃上げを！

春闘討論資料
その2

日刊 勤労千葉

80.3.18
No. 378

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（電話二五八〇九・公衆電話三三二七二〇七）

三里塚一反合春闘の高揚で、右翼再編策動うち破り！

「8%要求」は、実質賃下げ要求だ！

「80国民春闘共闘」は今年度賃上げ要求を労働四団体（総評・同盟・中立労連・新産別）で統一した、として「賃上げ率8%」なるものを発表した。

「8%」とは一体何だ?! たかだか「8%」の「賃上げ」で、今でさえ苦しい自分と家族の生活を支え向上させられると思っっている労働者が居るのだろうか。

第一に、これは「労働組合の側からの8%ガイドライン」設定ともいえるべき事態であり、賃上げ要求の完全放棄にほかならない。現在も急上昇を続けている消費者物価の上昇が、どんなに少く見つても、8%から10%あるいはそれ以上と予測されている今日、これは労働者の側から「実質賃下げ」を願いだしたも同然である。

第二に、「8%」は賃上げ闘争そのものを否定し、ひいては労働組合の最低限度の存在意義すら自分からなげすめていく重大な路線的裏切りであり、政府・資本の「国難」論に屈服し、労働者階級に「賃上げ自粛」耐乏生活を強要する一億総異質化への労働運動の転落を強要するものである。

そして第三に、同盟・J〇等のもはや労働組合とは認めがたいまでに第二労務課化している「体制内右翼潮流」翼賛勢力の主導権を認めることを通して、総評自らがますます戦闘的、階級的基盤を喪失し、労働戦線の右翼的再編策動に一気にずみをつける断じて許せない裏切り指導である。われわれは、このような右翼的潮流の策動をうち破り、総評・民同の指導の破産をのりこえて、今こそ80春闘を、原則のつとめた自前の労働運動構築にむけて奮闘していくのでなければならぬ。

「8%」なんかでは喰っていけない! 苦しくなる一方の生活……

アンケート調査にみる組合員の生活実態

右翼労働統一にうき身をやつす右翼ダラ幹には、今日のすさまじい経済攻勢にさらされている職場・生産点の生活ひっ迫状態を理解できないのだとしか言いようがない。われわれの生活の実態・賃上げ要求の「生の声」をもっと反映した「要求」とすべきである。

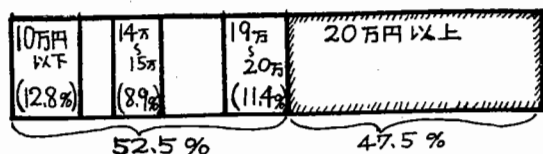
勤労千葉は昨年11月〜12月にかけて、80春闘要求づくりの基礎として全組合員を対象とした「生活実態調査および要求額アンケート調査」を実施した。その中から「組合員の生活実態」を示すいくつかの指標をひろって見よう。(表一参照) ここには大変緊迫した弾力性のない厳しい生活ぶりが明らかにされている。

100人中76人が「苦しくなった」と実感:

(組合員の生活実態例) (表一)

(イ) 扶養家族は「3名」が圧倒的に多く、全体平均は「2.257名」である。

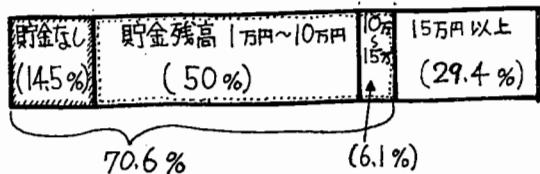
(ロ) 一ヶ月間の家計費(11/1〜11/30の実際の支出)は、



(ハ) 組合員の10月の税込総収入は平均197,168円で、17万〜23万までに集中している。

(ニ) 圧倒的多数の組合員は国鉄からの賃金のみで生計をたてており、24%の者が妻の収入(大半は10万円以下に集中)をあわせ生計を立てている。

(ホ) 12月1日現在、生活費として出し入れ出来る自由貯金の残高は



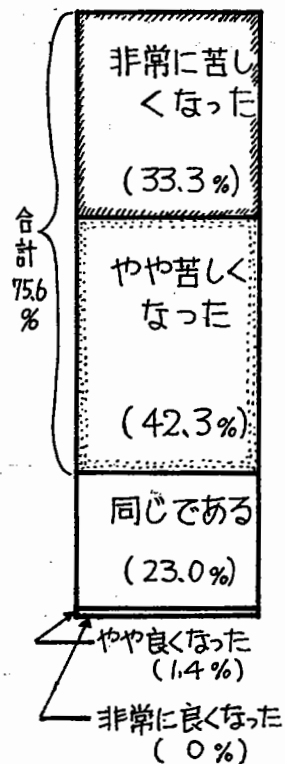
(裏へ) 年々低額・低率へと追いこまれ「春闘5連敗」を契り、労働者階級の生活は、きわめて破綻的になってきている実情は

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

(表より)

先に見た通りである。動労千葉の実施したアンケート調査によると「生活実感は昨年の今頃と比較してどうですか？」の設問に対し、次のように答えている。

組合員の生活実感



「苦しくなった」と感じている人は五・六%もいるのに対して、「良くなった」と実感している人は、わずかに1・4%にすぎないのである。

つづいて、「今の生活で最も困っている事、不安に思っている事を三つあげよ」という設問に対し、上位3項目は、結局「賃金の大幅アップ」を切実に求めるものとなっている(表1-2)

(表-2)

組合員の不安

問 「今の生活で最も困っている事、不安に思っていることを三つあげよ」

- 1位……「物価の上昇と家計の心配」……68.2%
- 2位……「現在の賃金が低いこと」……55.7%
- 3位……「税金が高いこと」……35.0%
- 4位……「住宅に関する問題」……16.1%
- 5位……「自分の健康」……15.7%
- 6位……「子供の教育問題」……15.4%
- 7位……「月賦や借金の返済」……13.6%

(動労千葉組合員生活実態アンケート調査より)

そして、組合員が生の声で求めている賃上げ要求額を全体平均した結果は「30,004円」を示している。

ちなみに労働四団体統一の「8%」なる要求を、金額に換算すると約14,872円にしかない。(国鉄職員給与平均185,896円として)

いかにでたらめな「賃上げ自粛」方針かはレキ然としているのだ。「さらに、今年度は、急上昇をつげる「物価上昇」と目じる押ししの「公共料金大巾値上げ」ラッシュがこれに迫りうちをかけるのであるが、それについては次回で詳しく見てみたい。」

(つづく)

三里塚-反合同争の高揚に固く結合させ

80春闘-大巾賃上げを勝ちとろう!

3.30 全力動員で 三里塚現地集会へ

